

1. 計画素案について

【屋井委員】

- ・132 ページまでの施策内容について、修正点を赤字にしていない。現行計画との違いを全て赤字で表示するか一部だけに留めるのか、方針を決めておくとよい。
- ・135 ページなど、※印がついている関連計画がいつ改定になるかなど、今後のスケジュール感も示すとよい。もし、今後の日程が確定していない場合は、関連計画の策定年度を記載し、それに基づいて進めるというのが分かるとうい。また、これらの既に進めている関連計画について情報を少し加えるだけでもリアリティーが上がるのではないかな。

【事務局】

- ・赤字の表示の方針については検討していきたい。
- ・135 ページの関連計画については、わかりやすいように追記する。

【大田区議会議員 大森委員】

- ・基本構想のアンケートで、区のイメージの第一位に「地域内の交通が便利」という意見が多数あった。空港の存在も大きいと認識しており、その強みをさらに伸ばしていく必要があると思っている。区内の東西を結ぶ新空港線の整備は、期待されているところだが、鉄道沿線における各周辺地区のまちづくりについて、区としてどのような取組を進めていくのか。

【鉄道・都市づくり課長 山田委員】

- ・鉄道整備の効果は単に線路と線路を繋ぐだけでは十分に発揮されないため、線路が繋がることによる便利さと、新しい人や物が流れて駅周辺のまちに取り入れていくことがとても重要だと考えている。そのため、鉄道整備に合わせてまちづくりも戦略的に進めなければならないと区では考えている。区では現在、鉄道沿線のまちづくりの方向性や将来像とその実現に向けた筋道を取りまとめた「鉄道沿線まちづくり構想」の案まで取り決めている。引き続きまちづくり構想の策定を進めていきたい。

【大田区議会議員 田村委員】

- ・資料の24 ページの区内における交通の課題一覧に、蒲田地域の「荷さばき車両等による交通阻害」という文言があるが、「阻害」という言葉がすごく強く感じる。
- ・79 ページの中段「駐車スペースの充実」に、「民間事業者による駐車場整備の適正化、観光バス等の駐車スペースの検討等を行う」とある。駐車スペースが足りないことで、運輸業界の方々から取り締まりの対象になっているとの言葉も多くいただく。
- ・156 ページの「公共交通や物流の運転者の動向」にもあるが、物流業界の担い手不足が深刻な課題になっている。喫緊の課題と捉えて計画の中でもしっかり検討してほしい。

【鉄道・都市づくり課長 山田委員】

- ・駐車場については、蒲田については現在蒲田周辺の駐車場の適正化計画の策定に向けて取り組んでいる。皆様にとってより良い駐車の仕方を歩行者優先ということも踏まえながら検討していきたい。

2. パブリックコメントについて

【屋井委員】

- ・動画は、文章が多いと見るのがつらいので、興味を引き見やすくなるように、こんなことができましたという内容を紹介するような写真、あるいは、この計画のもとで今こういうことに取り組んでいるとわかるような写真でも構わないので、追加するとよい。

【事務局】

- ・一人でも多くの皆様が見やすいようにしていきたいと思っている。そのため、写真を追加するなど、見ていただく方が楽しめるようなものになるよう検討していきたい。

【大田区議会議員 田村委員】

- ・大田区の未来像のところについて、川崎市・東京都・大田区三者連携の水素の利活用や、蒲田駅周辺でのEVカーシェアなどの動きがあるが、このような今後の方向性のようなものの記載がなくてよいか。

【事務局】

- ・将来の動向を含めて、現在取り組んでいることに関しては記載しているつもりだが、再度中身を確認する。

【まちづくり推進部長 西山委員】

- ・補足となるが、新たな交通分野の動きについては、例えばコラムのような欄で紹介するなど今後の動向を踏まえて工夫していきたい。

【清水委員】

- ・屋井会長がおっしゃったように、動画は文字ばかりで12分と長いので、この計画があったからこそ実現したことが1個でも2個でも動画の前半にあってもよいと思う。例えば、コロナで対応できなかったこと、今のお話にあった新しい技術や考え方が出てきて対応しなければいけないとか、そういうものが今後の重要な取組テーマになっていくなど。写真でよいと思うのでイメージを持ってもらえると、もう少し魅力的になるのではないかと。

3. その他

1) 公共交通不便地域における実証実験について

【屋井委員】

- ・デマンド交通の乗降場所に、何か目印になるようなものは立っているのか？

【事務局】

- ・高さ 30 センチ、幅 1 メートルの、路面シートを貼っている。

【屋井委員】

- ・実験でもあるし、淡々と見ていけばよいということか。それとも、利用を増やしたいとか乗降目印を直したいとか、そのへんはどのような感じか？

【事務局】

- ・デマンドが始まり概ね 2 か月程度が経過し、大体 150 人近くの皆様に利用いただいている。リピーターの方も増えてきていると聞いている。
- ・今後、様々な課題が出てくるのではないかと認識をしているので、半年をめぐりに、お客様の声や実態を含めて、東急バス様と一緒にさらなる利用促進を検討したい。

【東京都京浜島工業団地協同組合連合会 中村委員】

- ・資料 2 の 24 ページに空港臨海部地域の課題が出ているが、「交通渋滞の緩和」が入っていない。大田区の中で一番渋滞しているのは、臨海部の 357 号線だと思う。人手不足が深刻化しているが、渋滞という労働環境により求人にも影響が出ている状況である。
- ・357 号線については、羽田空港より先のトンネルがいま工事中と聞いている。トンネルができた場合、コンテナ車両の流入がさらにひどくなる。区の方でどこまで考えているのかを伺いたい。

【事務局】

- ・臨海部の交通渋滞等に関しては、今、港湾計画の改定等が進められているところ。その中で、交通渋滞の改善や、ご指摘をいただいた大型交通の流入に関しても、区としてしっかり国や東京都に要望等をしていきたいと思う。実際、要望等を東京都に出している。
- ・交通渋滞に関しては、様々なことをやっていかないと解決していかないとと思うので、幅広く連携しながら解決に努めていきたい。

3. 今後のスケジュール

【事務局】

- ・次回の協議会は、令和 6 年 2 月 9 日（金）14 時から、本日と同じ 201、202 会議室で開催を予定している。
- ・この後は、10 月 5 日から 3 週間、パブリックコメントにより、素案に対する意見を区報やホームページ、ツイッター、大田区の YouTube チャンネル、各特別出張所や図書館等、様々な方法で、区民や関係者の皆様からのご意見を広く公募する予定。
- ・意見募集の後は、その意見を集約し各関係部局等と調整のうえ、次回の有識者会、協議会でお示しする予定。

以上